砂壁状意匠塗材改修用シリコン系つや消し塗料

ニッペ インディフレッシュセラ

砂壁状や土壁状の高意匠塗材の意匠性をそのままに。
美しい外壁に生まれ変わります。

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

■特長

①高耐久性

高耐候性シリコン系樹脂に1液水性反応硬化技術を組み合わせ、すぐれた耐久性を実現しました。

②美しい仕上り

顔料配合技術により、高意匠塗材の質感を損なわない、落ち着いたマットな仕上りが得られます。

③低汚染性

親水化技術により外壁の美観を損なう雨垂れ汚染から外壁をまもり、美しさを長持ちさせます。

④微弾性

微弾性塗膜なので、下地のヘヤクラックに追従します。

⑤透湿性

塗膜には透湿性がありますので、背面からの水分影響を緩和し、膨れを抑制します。

⑥防藻・防かび性

藻やかびの発生を抑制し、建物の美観を維持します。

⑦オール水性システム

下塗りから上塗りまですべて水性塗料での施工が可能です。
取扱いが安全で、臭気が少なく環境に配慮した塗料です。

※写真はイメージです。

※高意匠塗材の例。

■用途

戸建住宅、マンション、商業施設などの
内外装砂壁状意匠塗材の既存意匠を活かした改修
一般内外壁面のつや消し仕上げでの改修

■適用下地

新設適用下地：コンクリート・モルタル・ALC板・スレート板・けい酸カルシウム板などの各種素材
改修適用下地：上記各種素材面の各種砂壁意匠塗材・土壁状意匠塗材・その他各種旧塗膜

■標準塗装仕様

工　程	塗　料　名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
素地調整	活膜は残し、劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、よごれを除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10～0.16	4時間以上	水道水	0～10	はけ ウールローラー
上塗り	インディフレッシュセラ	2	0.30～0.50	3時間以上	水道水	5～10	はけ ウールローラー

★上記の各数値は全て標準的なものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
　塗料の塗り重ねは所定の塗り重ねを乾燥時間をまもってください。
★旧塗膜は健全な状態であることを想定しています。
★同系色の塗替えには下塗りに水性カチオンシーラー透明もご使用いただけます。製品に関する詳細は製品使用説明書をご参照ください。

ニッペ インディフレッシュセラ

■既存塗膜別の使用量目安

既存塗膜（インディアートセラ）パターン例				使用量(kg/㎡/回)	1缶あたりの塗装面積(㎡/2回)
・フラット ・ラフ	ジュラク風	砂壁風	ウェーブ	0.30〜0.40	25〜33
・ラフ ・クラッド	ラフ	模様ローラーヘッド押え	吹付スタッコヘッド押え	0.35〜0.45	22〜28
・ライン	くし目ローラープレス	ローラーレリーフ	ラージコームライン	0.40〜0.50	20〜25

■塗装基準

塗装方法	はけ・ウールローラー
希釈率	5〜10 %
使用量	0.30〜0.50 kg/㎡/回

■乾燥時間

	5〜10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

■容量・荷姿

塗　料　名	系　統	容　量	色　相	つ　や
インディフレッシュセラ	砂壁状意匠塗材改修用 シリコン系つや消し塗料	20kg	各　色	つや消し

■施工上の要点と注意事項（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 微細な骨材を配合しておりますので、エアレス塗装は避けてください。
- 平滑面（フラット面）に施工する場合は塗り継ぎムラにご注意ください。希釈率を上限10%、中短毛ローラーでの施工をご推奨します。
- 面内での塗り継ぎは、継ぎむらが発生しやすいので素早く行ってください。
- 外部では、酸性雨、ばい煙など酸化物質(Nox、Sox)により変色する場合があります。酸性環境が予想される場合は、トップクリヤー（ジキトーン水性シリコンクリヤー3分つや有り）を塗装してください。
- 気温が高く、西日や直射日光が当たっている部位では、乾燥が非常に早くなりますので塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、シートなどで日陰を作って施工してください。その際、本施工の前に、希釈水を1〜2%増量して試し塗りを行なってください。
- つや消し塗料は、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- つや消し塗料は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや消し塗料は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 著しい汚染が発生しそうな個所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塗り替え時のシーラーは、水性カチオンシーラーの他にウルトラシーラーⅢもご使用いただけます。溶剤系シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを発生させることがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマ-を下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや消し塗料は、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

インディフレッシュセラ　白　　横倒禁止

・本来の用途以外に使用しないでください
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　　険	危険有害性情報
	飲み込むと有害のおそれ／発がんのおそれ／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2014年10月現在ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.
NP-S092
KE141010T
2014年10月発行